

令和8年度 倶楽部選手権

期 日：令和8年10月4日(日)

会 場：道後ゴルフ倶楽部

《 組合せ・スタート時間表 》

第1ラウンド

第2ラウンド

【 OUT → IN 】 ⇒ 【 OUT → IN 】 ※ラウンドスルー 第1Rセルフプレー 第2Rキャディ付き

	スタート時間	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
1	7:00	宮内 信太郎	渡 邊 将 憲	白石 泰祥	田寺 慎哉
2	7:07	福永 琢磨	渡部 和人	岡田 修治	井上 寿一
3	7:15	高市 裕気	小岡 皇王	丸 山 武	
4	7:22	増田 康平	中田 天平	眞鍋 康宏	

競技方法

【選手権】

72Hストロークプレー (スクラッチ競技)

(予選) 36Hストロークプレー 上位16位タイが決勝進出

(決勝) 36Hストロークプレー 10月8日(木)

《 競技の条件 》

1. ゴルフ規則 : JGAゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定 : 競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 適合球リスト : ローカルルールひな型G-3を適用する。このローカルルールの違反の罰：失格
4. 適合ドライバーヘッドリスト : ローカルルールひな型G-1を適用する。このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
5. 競技の結果-競技終了 : 本競技は競技委員長による成績発表がなされた時点をもって終了する。
6. スコアカードの提出 : スコアリングエリア方式を採用する。
7. 競技方法 : 道後ゴルフ倶楽部競技細則『第5条①』を適用する。
※36ホール終了をもって成立とし、2日間で72ホールを終了できない場合は競技を短縮する。
8. 順位決定 : 道後ゴルフ倶楽部競技細則『第7条①』を適用する。

« ローカルルール »

1. アウトオブバウンズ « 規則18.2 »

(a) アウトオブバウンズの境界線は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む） « 規則16 »

(a) 修理地

青杭を立て白線で囲まれた区域によって定められる。

(b) 動かさない障害物

排水溝はジェネラルエリアの動かさない障害物として扱われ、ペナルティーエリアではない。（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にある排水溝）

人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。

3. 練習 ホールとホール間の練習

規則5.5 b は次の通り修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・ 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・ 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

※ **ローカルルールの追加変更は、随時クラブハウス内に掲示して告知する。**

« 注 意 事 項 »

1. スタート時刻20分前には受付を済ませ、8分前には、ティーイングエリア周辺に待機すること。
2. 競技参加者は、コースにおいて前の組との間隔を不当にあけないように注意のこと。
3. マーカーは次打者とし、最終打者のマーカーは第1打者とする。
4. 欠席者のあった場合は、組合せを変更することがある。
5. ラウンド中の携帯電話の使用は控えて下さい。
6. ローカル・ルールに追加、変更のある場合は、ハウス内に掲示して告知する。
7. キャディが帯同しない場合がありますのでご了承下さい。

※ **悪天候などの為、競技の運営に支障をきたした場合は競技を短縮する場合がありますのでご承知ください。尚、本競技は“36ホール終了”をもって成立いたします。**

倶楽部選手権競技委員長 河端 直人